

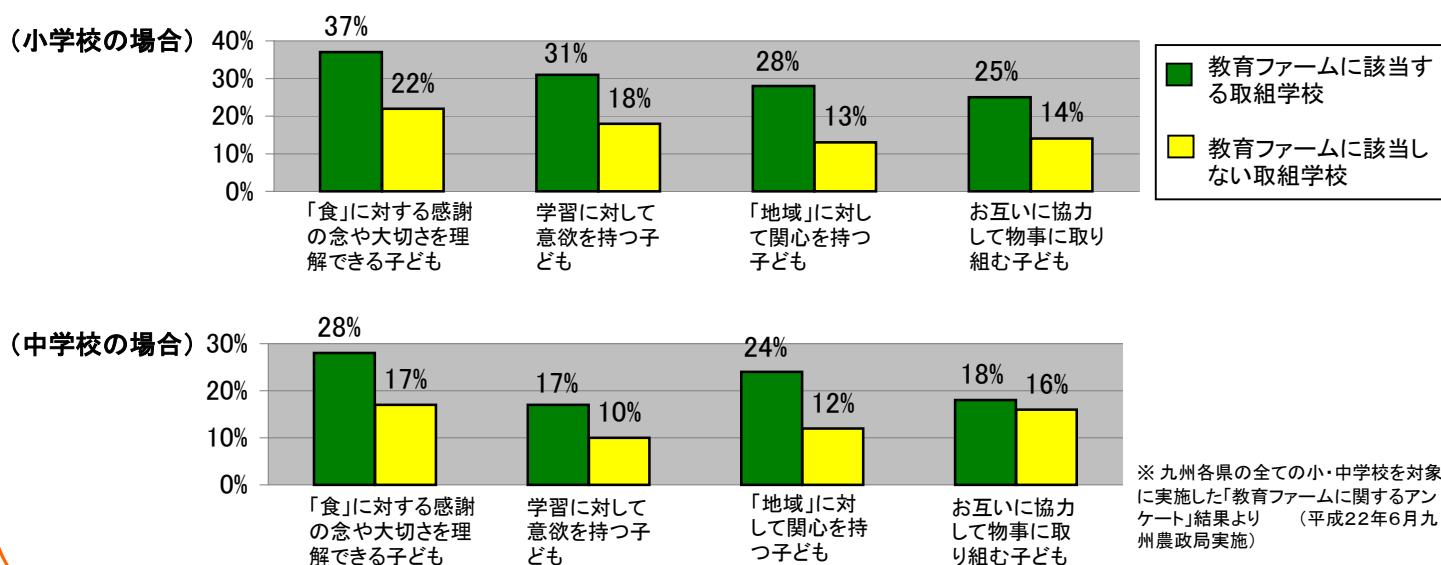
教育ファームは子どもたちを大きく育てます！

○「いのち」を感じる農林漁業体験である「教育ファーム」には、様々な効果が確認されています。

教育ファームは子どもたちに高い教育効果があります

九州農政局が、学校に対して行った「教育ファームに関するアンケート調査」の結果では、教育ファームに該当する農林漁業体験活動は、該当しない体験活動に比べ高い教育効果が確認されました。

【取組内容によって異なる農林漁業体験の効果】 (各項目において該当する子どもたちが「かなり増えた」と回答した学校の割合)



自然の中で、子どもたちの笑顔があふれます！

長崎県西海市立瀬戸小学校

学校と生産者が連携して、年間指導計画、食育指導計画の見直し・作成を毎年行い、秋の体験活動の計画・打合せを夏休みに関係者と実施。また、教科横断的な総合カリキュラムを作成すること等により、地域の協力を得ながら農作業体験に取り組むことができた。

更に、栄養教諭を活用して親子料理教室を開催し、郷土料理を作るなど地域の良さを見直す取組を実施。その結果、地域について学んだり、地域の人々と関わることにより子ども達の瀬戸に対する理解が深まり、また、学習意欲も高まった。

教育ファームの定義と位置づけ

◎「教育ファーム」とは、①農林漁業者からの指導を受けて、②同一作物について年間2日間以上にわたって、③2作業以上の農作業等を体験する機会を提供する取組をいいます。

◎平成17年6月に制定された「食育基本法」に基づき策定された「食育推進基本計画」では、「食」に関する関心や理解の増進を図るためには、農林水産物の生産に関する体験活動の機会を提供することが重要とされ、このために、一連の農作業等の体験の機会を提供する「教育ファーム」の取組が計画的になされている市町村の増加を目標とし、特に「教育ファーム」の取組を重要と位置づけています。

農林水産省
九州農政局

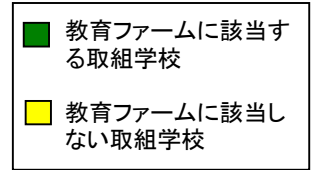
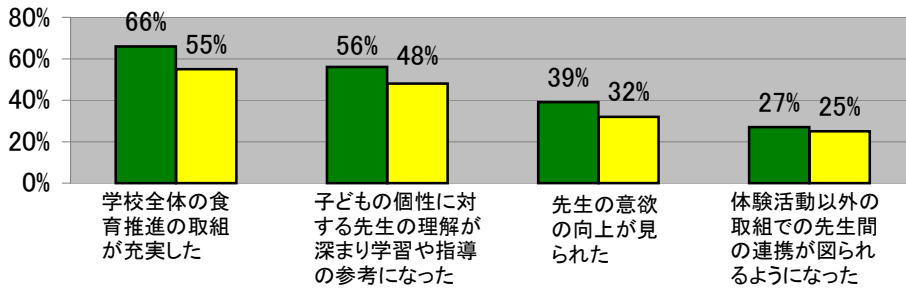
教育ファームによって学校も育っていきます

教育ファームに該当する取組を行っている学校は、そうでない学校と比べ、農林漁業体験活動を通して「教育力」を高めています。

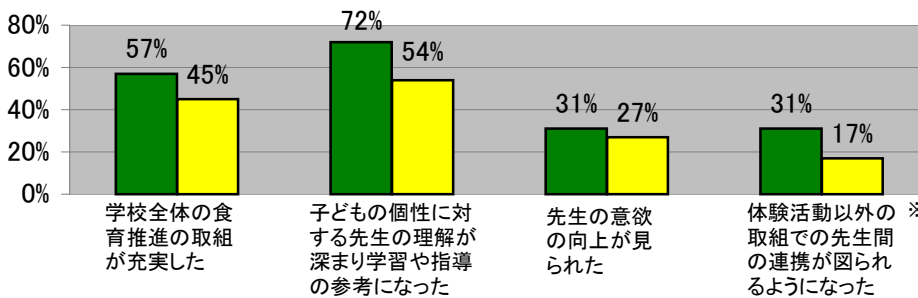
【取組内容によって異なる農林漁業体験活動の効果】

(各項目において該当すると回答した学校の割合)

(小学校の場合)



(中学校の場合)



※九州各県の全ての小・中学校を対象に実施した「教育ファームに関するアンケート」結果より
(平成22年6月九州農政局実施)

○教育ファームの取組の拡大が求められています。

教育ファームの取組は少ないのが現状です

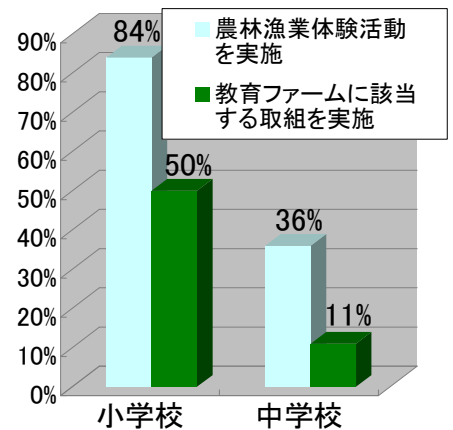
農林漁業体験活動については、多くの学校で取り組まれています。教育ファームに該当する取組は、まだまだ少ないのが現状です。

九州農政局は教育ファームを推進しています

九州農政局では、「九州地域教育ファーム推進協議会」(平成22年3月)を設置し、九州地域における教育ファームの一層の推進に向けた検討をしています。

「九州地域教育ファーム推進協議会」及び「教育ファームに関するアンケート調査」の詳細は、九州農政局HP「食育のひろば」の「教育ファーム」に掲載しています。ぜひ一度、ご覧ください。

【教育ファームに係る取組の実態】



※九州各県の全ての小・中学校を対象に実施した「教育ファームに関するアンケート」結果より
(平成22年6月九州農政局実施)

<九州農政局HPアドレス>

<http://www.maff.go.jp/kyusyu/syohianzen/hiroba/kyoikufarm/kyoikufarm.html>

詳細はこちらまでお問い合わせ下さい

〒860-8527熊本市春日2丁目10番1号
九州農政局 消費・安全部 消費生活課
TEL:096-211-9111(内線 4215)

担当:中村、北野
FAX:096-211-9700